

ながおから版 防災かわら版

第2回-新潟県中越地震、平成23年7月
新潟・福島豪雨

令和4年7月19日発行
一般社団法人
長岡青年会議所
未来へ繋ぐ灯り委員会
後援 長岡市教育委員会

防災×長岡の精神性

わたし達の住む長岡で7・13水害、新潟県中越地震という2つの大きな災害(さいがい)が起こってから18年がすぎました。災害からの復興(ふっこう)には長岡人の精神性が活かされてきました。『ながおから防災かわら版』はその史実(しじつ)と共に復興にかけた想いと精神性を5回シリーズでお伝えします。

新潟県中越地震



新潟県中越地震の様子

平成16年10月23日午後5時56分。突然(とつぜん)の激震(げきしん)、最大震度は7。家が倒壊(とうかい)、野山は崩壊(ほうかい)し、道路は陥没(かんぼつ)するなど、新潟県内各地で大きな被害(ひがい)を受けました。これは後に新潟県中越地震と名づけられました。道路はとざされ孤立(こりこ)する地区もありました。地震で亡くなった方は46名、重傷(じゅうしょう)者631名、軽傷者4162名にもおよびました。



地震体験を聞かせて！

「初めは大きなうねりがあったりして、電気が付いたり消えたりして、その後、大きな衝撃(しょうげき)とともに地震(じしん)が起きました。次の日には自分の住みなれた町が、地震によって知らない町へ変わったようでした。道路のコンクリートはすべて全壊(ぜんかい)するお家もありました。わたしは商店街に住んでいて、被害(ひがい)があつた当日には幼稚園(ようちえん)に避難(ひなん)して、近所の人達と協力して生活しました。正直、不安でいっぱいでしたが、地域(ちいき)の結束力(けつそりき)が強く新しい家族(かぞ)がふえた気持ちで避難所生活をすることができました。」

「被災(ひさい)後に分かれ道となるのは地域の人たちのコミュニケーションです。まずは勇気を出してあいさつすること、地域のつながりを作ることができま



中越地震の震源地

震源地の武道窪地内

川口きずな館

地震後からの年表

平成23年7月新潟・福島豪雨

平成23年7月28日から30日にかけて、とても強い雨が数日続きました。この大雨により魚沼市堀之内では観測史上(かんそくしじょう)最も高い水位(すい)を記録しました。県内では4人の尊(とう)とい命が失われたほか、多数の家屋や農作物も大きな被害(ひが)を受けました。

当時のこと教えて！

「川口やなは、魚野川(うおのがわ)のめぐみを受け、川口の歴史(れきし)と共に作り上げてきました。しかし平成23年7月29日、豪雨(ごうう)により堤防(ていぼう)が越水(えす)すいし、道路まで水が押しよせて、やな場は流されてしまいました。川口やなが、川口の伝統(でんとう)を守ることができませんでした。」

「水害は、雨が降ってから避難(ひなん)するまで時間があります。危険(きけん)な時はあせらず正しい情報(じょうほう)をもとに避難(ひなん)を最優先(ゆうせん)としてほしいです。」

ハザードマップって何？

川の氾濫(はんらん)、堤防(ていぼう)の決壊(けっかい)といった水害時の被害(ひが)を少なく

浸水(しんすい)が予想される地区や避難(ひなん)場所、避難(ひなん)の順路などを地図に示したものです。長岡市のハザードマップから自分たちの住んでいる地区のことを調べてみよう！



再開したやな場



流されるやな場



川口やな 男山漁場 関達夫さん

長岡の精神性

復興(ふっく)に至(いた)った 想いと長岡の精神性(せいしんせい)

共に助け合う

長岡では昔から助け合いの精神(せいしん)が息づいています。震災(しんさい)の時には自衛隊(じえいたい)や県内外から多くの人々がボランティアにつけてくれました。復興祈願(ふっく)きが花火フェニックスには、あの時に支援(しえん)してくれた人々への感謝(かんしゃ)の気持ちもこめられています。震災の時、すぐに助け合うことができたのは『共助の精神』が活かされてきたからでしょう。

共助の精神の活用法

日ごろから地域のみなさんとあいさつを交わしコミュニケーションを図ることは、災害時の助け合いにもつながっていくのではないのでしょうか。

8月11日(木・祝) 『防災サマープログラム』開催！

かいさい 開催！



館内ツアーやゲームなどを通して防災を考える体験型イベント。参加費無料。
場所：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい (長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト2階)
時間：午前の部：10時～12時(25名) 午後の部：14時～16時(25名)
対象：小学4～6年生と保護者の方 ※くわしくは申込みフォーム(右QRコード)にて



写真・参考文献の提供元はこちらから

ご意見・ご感想 お聞かせください。



ぼう さい 防災